

## 当院ご利用の皆様、地域関係者の皆様へ

この度、当院精神科病棟勤務の看護師が新型コロナウイルスに感染したことが判明し、指定医療機関に入院していますが幸いにも軽症とのことです。

病院としても即日に対策会議を開き、厚生センターへその旨連絡し、院内および宿舎などの消毒を徹底し、本人と濃厚に接触したと思われる入院患者 3 名、職員 1 名を確認して個室管理および自宅待機を含む健康管理を厳重に開始し、併せて、3 月 31 日中に当院内の濃厚接触者である入院患者と職員についても PCR 検査を行った結果、4 月 1 日夜に全員の陰性が判明しました。当座の院内感染は防ぐことができたと思われませんが、以降も 2 週間は継続して自宅待機および健康観察を厳重に行います。皆様にはご心配とご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

さらに、所轄の厚生センター、県、国立病院機構等と連携を図り、指示、支援をいただきながら、今後も院内感染が発生しないよう、拡大させないように、職員が一つになってしっかりと取り組んでまいり所存です。当院の診療活動におきましては、院内感染の恐れがないと確認できるまでの間、一部制限を行いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、当院職員、その家族や出入りする多くの業者など関係者に広く感染の疑いがかけて、誹謗中傷、差別などが発生しているようです。感染の拡大を防止するために不安を抱きながら懸命に医療を支えようとしている一人ひとりには是非とも皆さんのお力添えをいただき、これまでと変わらぬ温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和 2 年 4 月 1 日

国立病院機構北陸病院院長 坂本 宏

下記より NHK 富山 NEWS WEB をご覧になれます。

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20200401/3060004129.html>